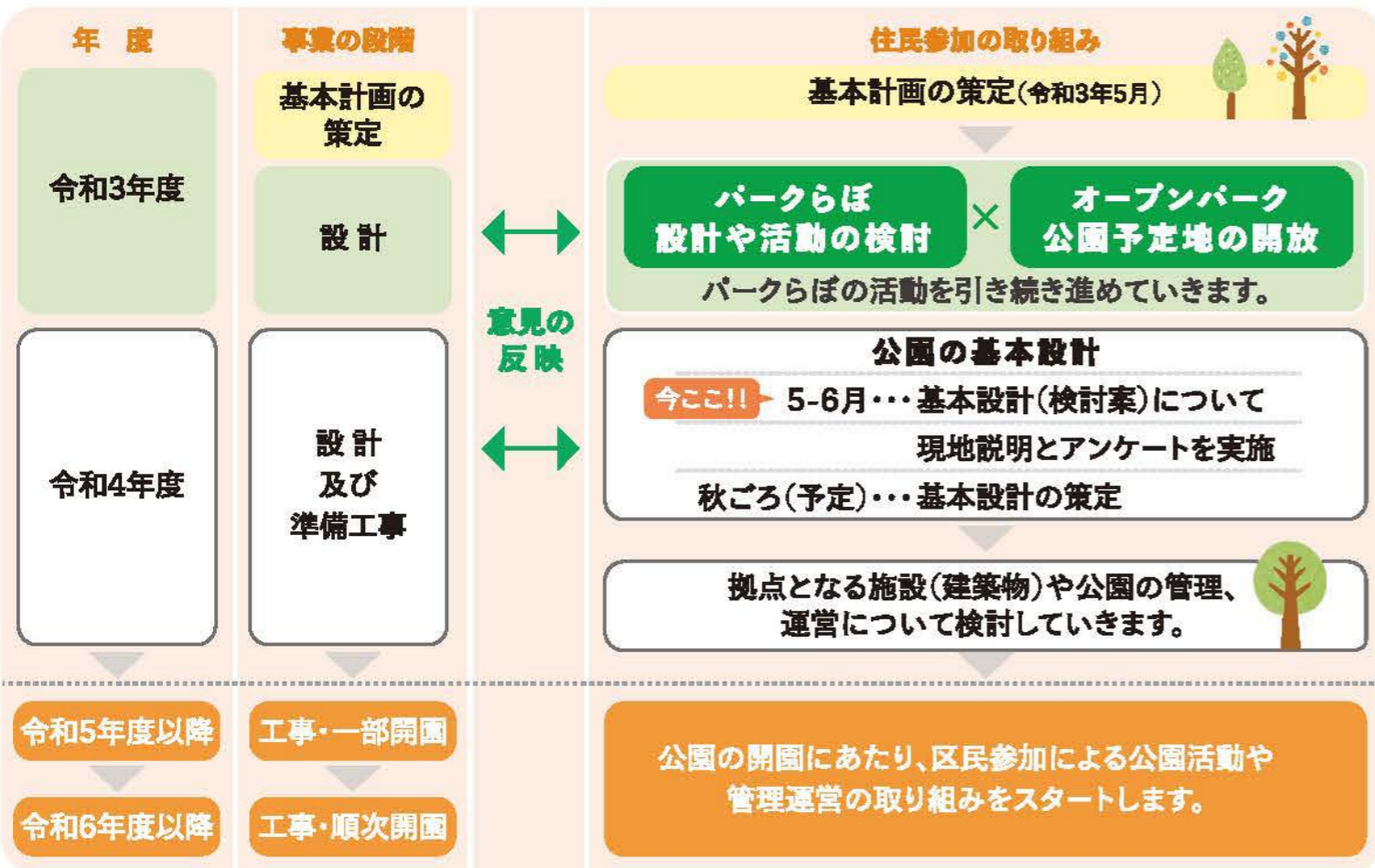


玉川野毛町公園拡張事業の流れ(予定)

基本計画を踏まえ、区民や事業者と協働して公園の設計を進めていきます。
 なお、拡張予定地の整備とあわせて、既開園区域の改修も順次進めていく予定です。



今後の予定

基本設計(検討案)の現地説明の実施

区民参加でとりまとめた基本設計(検討案)のパネル展示による説明を行い、意見交換を行います。

日 5月29日(日)、30日(月)、6月5日(日)
 時 いずれも午前10時から午後4時
 (雨天中止、入退場自由)
 場 玉川野毛町公園テニスコート前
 所 及び拡張予定地(野毛一丁目18~23、25)

便益・サービスの拠点施設について

これまでの区民意見を踏まえ、玉川野毛町公園にふさわしい飲食・物販施設の導入を検討します。施設の誘致については、民間事業者の意見も聞きながら進めていきます。

公園の管理運営について

「玉川野毛町パークらぼ」の取り組みが活発化しています。区民や事業者、区が連携して公園の管理運営を行うことを想定し、管理運営の仕組みについて検討を進めていきます。

問い合わせ先

世田谷区みどり33推進担当部 公園緑地課 建設担当(野々村、岡田、津田)
 〒158-0094 世田谷区玉川 1-20-1 二子玉川分庁舎
 電話:03-6432-7910 / FAX:03-6432-7989



www.nogemachi-parklab.com

「玉川野毛町パークらぼ」の活動については、ホームページ、またはインスタグラムをご覧ください。



世田谷区 SETAGAYA CITY

玉川野毛町公園拡張 検索

ホーム > 目次から探す > 区政情報 > 施設 > 公園・農園・緑道 > 公園・緑地 > 公園に関するお知らせ > 玉川野毛町公園が新たに広がります。

発行:令和4年5月

公園づくり ニュース

第10号

公園づくりニュースでは、玉川野毛町公園拡張事業の取り組みについてお知らせします。

公園拡張の基本設計(検討案)に関するアンケートにご協力ください

令和3年度の取り組みを報告します。

令和3年5月に基本計画を策定し、9月より協働の公園づくり「玉川野毛町パークらぼ」をスタートしました。ランドスケープデザイナーや専門家とともに、広く区民参加で基本設計について検討してきました。

基本計画の概要 令和3年5月策定

公園づくりの目標

世田谷の先人たちを育んだ豊かなみどり、
 歴史文化を区民の手で大切に育み、
 100年後も地域に愛される公園を目指します。

公園づくりの方針

ともにつくる、ともにあゆむ公園づくり

つくりこみすぎず、人との関わりにより少しずつ育む
 「余白をいかした公園づくり」を目指します。

みどりとみずの
ネットワークづくり

歴史・文化を
感じられる空間づくり

安全・安心の
公園づくり

協働の公園づくり「玉川野毛町パークらぼ」の取り組み

「玉川野毛町パークらぼ」(以下、パークらぼ)では、活動を企画しやってみる「アクティブDAY」と公園設計を考える「デザインDAY」、そして拡張予定地を定期的に開放する「オープンパーク」を行い、広く区民と取り組みを共有・検証しながら公園設計や活動の具体化を進めてきました。

パークらぼの取り組み
▶▶ P2-3



オープンパークの様子

基本設計(検討案)をとりまとめました

パークらぼでは、令和3年9月から令和4年2月までにアクティブDAYとデザインDAYを合わせて18日開催し、延べ500名もの参加を経て令和4年2月に基本設計(検討案)をとりまとめました。

基本設計(検討案)
▶▶ P4-7



基本設計(検討案)の模型

基本設計の策定に向けてご意見をください

アンケート調査を実施します。基本設計(検討案)についてご意見をください。

アンケート
▶▶ 別紙

現地で基本設計(検討案)のパネル展示による説明を行います。詳しくはP8を参照ください。

基本設計を策定します

いただいたアンケートや公園開放日などのご意見を反映し、令和4年秋ごろに基本設計をとりまとめる予定です。今後、工事を行うための詳細な設計や準備工事などを進めていきます。



位置図

玉川野毛町パークらぼの取り組み

区民発意の取り組みを現地で行い、公園の将来像や設計、活動、運営のしくみを考える新しいスタイルの公園づくりにチャレンジしています。



公園を「私たちの暮らしの舞台」として育むため、区民発意の様々な取り組みにチャレンジしています。

- 公園の将来像や公園でやってみたいことについて意見を出し合う
- 現地で実際にやってみる空間を体験してみる
- 見えてきたことを公園の設計に反映する

アクティブ DAY デザイン DAY

オリエンテーション
地域の魅力、公園の将来像、公園でやってみたいことについて、意見や思いをお聞きしました。

95名に参加いただきました

アクティブ DAY

「公園でやってみたい」を持ち寄り、テーマと活動を起こしました。

現場で活動を考える

デザイン DAY

活動とデザインのマッチング

活動とデザインの関係性について考える

オープンパーク

区民発意の企画を実際にやってみました！1,100人もの方々に来場いただきました。

ガイド パネル展示

青空ヨガ

デザインのポイントを空間体験共有

建築物の大きさや配置、古墳や富士山との関係性を確認

アクティブ DAY

参加者同士の交流が生まれ、様々な活動が発展してきました。

活動のヨラボレーション

果実の活用方法の検討

対話型ワークショップ

設計者との対話とプランを確認

オープンパーク

公園の将来イメージを持ちプログラムを実践、検証しました。

キッチンカー 自然素材でリネスづくり

花壇づくり

公園デザインの共有

模型で公園の将来イメージを共有

パークらぼとして基本設計(検討案)をとりまとめました。

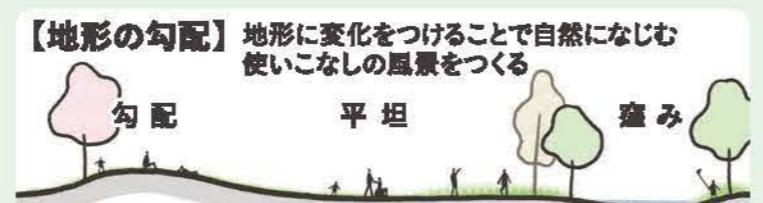
基本設計のデザインコンセプト 「グリーンウェーブ」

多様な区民活動の波が公園からまちに広がる

- 古墳や微地形、樹木がかたちづくる立体的なみどりの波
- 多摩川や等々力溪谷、国分寺崖線がつくる地形の波
- 多様な活動を支える大地の波



3つの環境要素で活動を支える空間をつくる
区民の想いである「つくりこみすぎない公園づくり」を実現するため、ごく自然で利用にもなじむ、つくりこみを感じさせない質の高い公園空間を目指します。



活動から公園デザインを考える

活動の「うごき」から、公園利用や活動を支える「しくみ」や「かたち」を考えます。

活動の実践例

- イベントの開催
- ヨガ
- テーブルチェアの貸し出し
- 自然素材を活用した遊びや取り組み
- 土の山で遊ぶ子供
- どんぐりを使った麻づくり

設計・使い方の展開例

- 日差しや雨をしのぐ屋根やテント
- 備品を収める倉庫
- 活動の拠点となる建築物
- 文の低い草地の広場
- 子どもの遊び場となる土の山などの地形の変化
- 四季を感じる居場所づくり
- 備品の貸し出し
- 利用のルールづくり
- 常設の遊具に頼らず、遊びを創造できる環境
- ツルや実のなる樹木の活用
- みどりの維持管理を支える拠点

区民協働で育てゆくデザイン

区民発意の活動の場づくり

■大・小ささまざまな広場や樹林地内で、区民発意の活動や遊びが実施できる仕組みやルールをつくります。

区民とともに育むみどり

■区民参加で少しずつみどりを育みます。
■区民も維持管理活動に参加する仕組みを検討していきます。



活動の様子

公園利用や活動の拠点となる施設・・・②

■軽飲食や休憩など、様々な公園利用や活動に対応できる施設とします。
■拠点となる施設の屋内、屋根下、屋外の草地の広場と連続する空間とします。
■「環境と調和する」「外部と連続する半屋外スペースをいかす」「微地形と呼応し、風景に馴染む」建築物とします。



拠点となる施設と草地の広場のイメージ

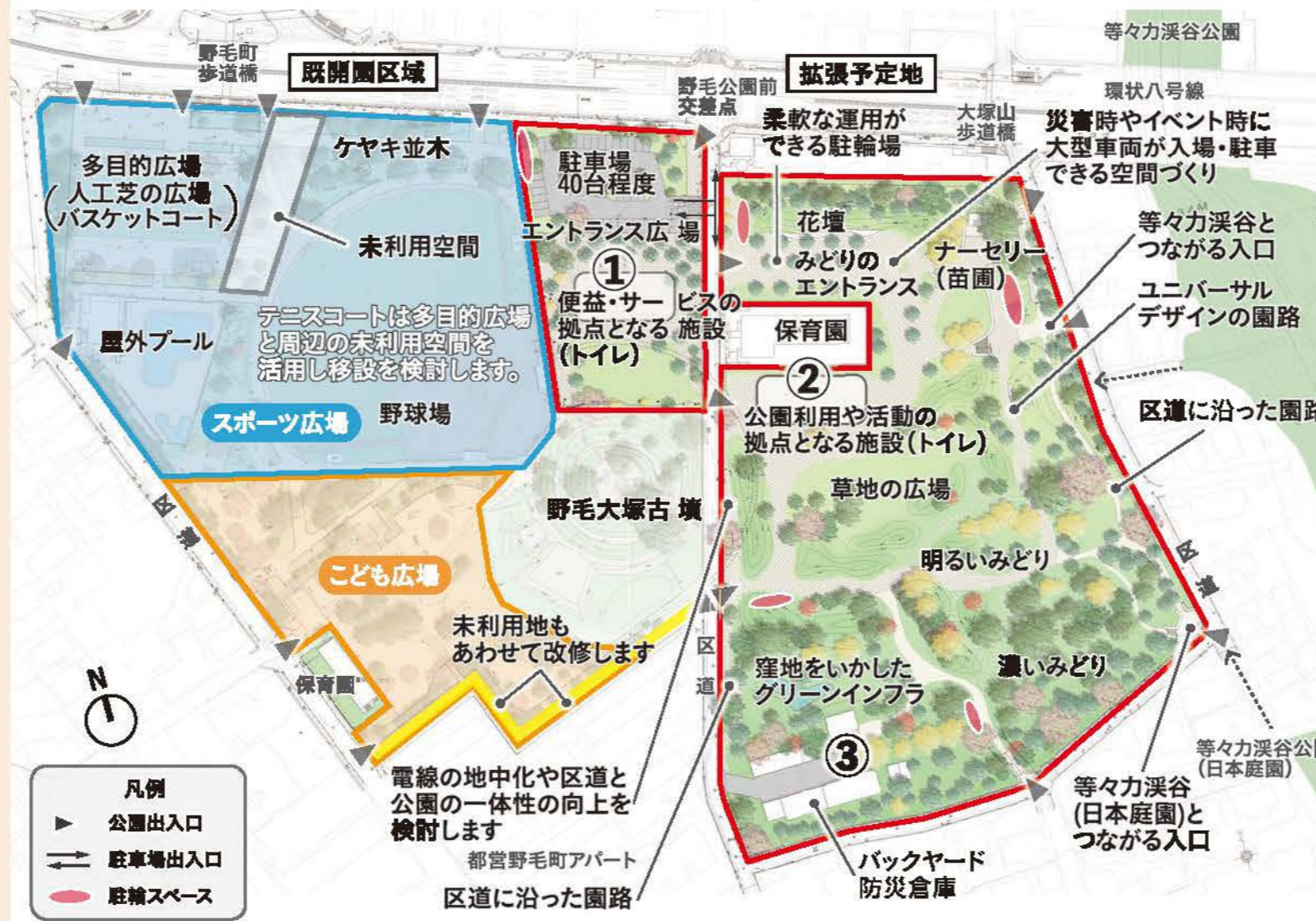
子どもが創造する自然の遊び場

■施設系の遊具は設置せず、原っぱや樹林などの自然環境をいかし、自由な発想で遊びを創造できる空間を整備します。



オープンパークでの遊びの風景

「パークらほ」の活動を通じて、区民参加で基本設計(検討案) [赤色の枠の範囲] についてとりまとめました。



凡例

- ▶ 公園出入口
- ⇄ 駐車場出入口
- 駐輪スペース

楽しみ広がる公園利用の仕掛け

■お気に入りの場所でくつろぐことができるよう常設のベンチのほか、テーブルチェアの貸出など、楽しみ広がる公園利用の仕組みを検討します。



オープンパークで実践したテーブルチェアの貸出風景

公園の夜を演出する照明計画

■歩行者の安全と生きものに配慮した計画とするとともに、光の明暗のメリハリを付けることで空間の美しさを引き立てます。
■落ち着きを感じる暖色系の照明光を採用します。



広い範囲を照らす高ポール照明 足元を照らす低ポール照明

日常的な楽しみや質を高めるデザイン

エントランス広場の再整備

■拡張整備とあわせて公園の顔となるエントランスを再整備します。
■「駐車場」は19台から40台程度を増やします。出入口の位置を交差点から現状より南へ離し、安全性の向上を図ります。

便益・サービスの拠点となる施設・・・①

■公園の管理機能に加え、飲食や物販施設の導入を検討します。

安全・安心の公園づくり

■園路周辺の見通しを確保し、死角の少ない計画とします。
■ゆとりある幅員の確保と段差をなくすことで、高齢者や障がい者、車いす利用者など誰にとっても使いやすい園路(1.8m以上)とします。



園路周辺のイメージ

グリーンインフラの導入

■みどりや地形をいかし、雨水の流出を抑制するとともに、水の循環や生きものの生息環境、遊び・学びの場を整備します。



グリーンインフラのイメージ

バックヤード・防災倉庫・・・③

■既開園区域の北東、公園管理棟の付近に位置するバックヤードや広域用防災倉庫は、拡張予定地の南西角に移設します。

既開園区域のリニューアル

既開園区域も順次全面改修を予定しています。区民の皆さまと検討の機会を設けながら改修を進めます。

古墳とのつながりを再構築

■バックヤードやテニスコートを移設し、古墳とのつながりを大切にした広場として再整備します。ランドマークとなる古墳の保全を図ります。



イメージ

スポーツ広場

未利用空間を有効活用し改修を検討

■多目的広場、野球場、屋外プール、ケヤキ並木にテニスコートを加え、スポーツ広場全体で改修を検討します。
■現在ある野球場、テニスコート、屋外プール、多目的広場は現状と同等の機能と広さを確保します。
■テニスコートは、多目的広場とその周辺の未利用空間を有効活用し、移設を検討します。



多目的広場周辺の未利用空間

子ども広場

■遊び場となる広場や園路動線など現状の課題を把握し、利用者の声を聴きながら改修を検討します。



現状の子ども広場



既開園区域も順次全面改修を予定しています。

※既開園区域は現状を図化したものです。
※テニスコートは多目的広場と周辺の未利用空間を活用し移設を検討します。

